



県政に勇気！ 南魚沼に元気！

ひぐち  
秀 敏

# 元氣通信

2021/6 第9号

発行責任者：柴田恵美子  
南魚沼市塩沢1412-2 阿部  
ひぐち秀敏後援会事務所  
電話・FAX：025-782-5233

2月定例会の一般質問で観光振興策の充実などを求める樋口県議。地元の織物、本塩沢の着物を着て登壇した=3月3日



ひぐち秀敏後援会は  
5月11日に幹事会を開催しました。ひぐち県議の2月定例会での取り組みの報告を受け、6月定例会に向けた地

域の課題や要望について議論しました。観光振興策では、議会での発言が、県の施策につながっていることが確認できました。（2面）

員・地域の声が政策に反映されるよう活動していくこととしています。他地区の活動の参考となりました。

## 塩沢地区の取り組みに学ぶ

後援会幹事会

## 一連の不祥事で再稼

ましょい。

た。また県は、県技術委員会委員の半数を兼任しないなど、柏崎刈羽原発再稼働に向けた動きが進められていま

た状況ですが、自民党の議員連盟は脱炭素を口実に原発の新設・増設を求めています。解散総選挙では、原発反

考にすべきと求めまし

勧の議論は先送りされ

の12月定例会で、宮城県が女川原発再稼働の地元同意を県議会の同

## 2つの 東京電力 取り消し

原子力規制委員会が4月に是正措置命令を行なつたばかりでした。

の署名に  
協力ください

## 東京電力・柏崎刈羽原発の「設置許可取り消し」を求める署名

## 原発再稼働の是非を県民が決める署名

署名用紙は、ひぐち  
事務所にあります。  
連絡いただければ  
お届けします。



## 樋口県議の主張と県の施策

県の施策	樋口の主張
県民宿泊キャンペーン（第一弾） 20年6月1日～7月31日 1人1泊1万円以上の宿泊に対して5千円割引	1泊1万円以上では該当しない施設も多い。こうした事業者への支援策を求める。 【20年6月定例会・一般質問】
県民宿泊キャンペーン（第二弾） 20年8月1日～10月31日 1人1泊1万円以上の宿泊に対して5千円割引、6千円以上の宿泊に対して3千円割引	高齢者など、デジタルが苦手な経営者にも配慮した制度設計を求める。 【20年9月・産業経済委員会】
泊まつ得！県民割キャンペーン 21年3月8日～6月30日 1人1泊5千円以上の宿泊に対して2千円割引。新潟県在住者限定。宿泊施設への直接予約も対象。	5千円上限で 1/2に拡充。開始は未定
感染症対策認証店設備導入支援 対象：県の認証取得飲食店 補助：設備整備経費の3/4 50万円を上限。  宿泊事業者感染防止対策支援 対象：県内宿泊事業者 内容：感染防止対策経費補助 補助：3/4以内、規模別で 75万円～750万円	緊急事態宣言で落ち込んだ宿泊施設支援に県民対象の誘客活動を行なえ。安心してホテル等利用できるよう、三密対策支援金を再度事業化すべき。 【21年2月定例会・一般質問】

ひぐち県議は、異常少雪だった19・20シーズンから引き続く新型コロナウイルスの感染拡大で冷え込んだ観光業への支援を求め続けて

きました。南魚沼市及び湯沢町観光協会（現機構）やスキー場、民宿の経営者を訪ねて観光業の現状をうかがう

とともに、ハローワーク南魚沼で雇用状況を確認してきました。

第二弾に反映されましたが、効果は限定的でした。しかし、民宿などに多い旅行会社との契約やパソコンを使つ

## 観光産業の支援策が拡充

# 地域の声 施策に反映

反映されました。国のGOTOキャンペーンで高級宿泊施設に偏つた利用客を、民宿など小規模宿泊施設にも来てもらえるよう、県民割宿泊割引の対象金額引き下げを求めました。

スキー場や宿泊業者からは、宿泊割引より感染防止対策への支援を、飲食店からは山梨県が行なつている認証制度を求める声が多くありました。このことを昨年来訴え続けてきた結果、6月補正予算に飲食店における新型コロナウイルス感染症対策認証事業とともに実施される感染症対策を認定店舗設備導入支援事業と宿泊事業者感染防止対策支援事業の予算が計上されました。

宿泊施設への補助事業は、感染防止対策のための物品購入や施設改修経費を4分の3以内の補助率で、客室数は最大50室以上の場合50万円までに応じて補助するものです。

ひぐち県議は、これからも地域の声を丁寧に聞く活動を続けていきます。ぜひ、みなさんの声を聞かせてください。

う経営者が参加できる制度を求めた結果、3月から始まつた県民割キャンペーンでは、旅行会社を通さない予約も対象となりました。

スキー場や宿泊業者からは、宿泊割引より感染防止対策への支援を、飲食店からは山梨県が行なつている認証制度を求める声が多くありました。このことを昨年来訴え続けてきた結果、6月補正予算に飲食店における新型コロナウイルス感染症対策認証事業とともに実施される感染症対策を認定店舗設備導入支援事業と宿泊事業者感染防止対策支援事業の予算が計上されました。

宿泊施設への補助事業は、感染防止対策のための物品購入や施設改修経費を4分の3以内の補助率で、客室数は最大50室以上の場合50万円までに応じて補助するものです。

ひぐち県議は、これからも地域の声を丁寧に聞く活動を続けていきます。ぜひ、みなさんの声を聞かせてください。

このことが施策拡充の一助となつたに違ありません。ひぐち県議は、これが実現は業界団体など各方面からの要望があつてのことです

が、議会で訴えてきたことがあります。ぜひ活用ください。

ひぐち県議は、これからも地域の声を丁寧に聞く活動を続けていきます。ぜひ、みなさんの声を聞かせてください。

## 県議会6月定例会

会期：6月15日（火）～7月5日（月）  
本会議の様子は、中継・録画でご覧いただけます。

# 検証の形骸化許すな

## 委員会は県民の安全守る財産

花角知事は、東京電力柏崎刈羽原発の安全を管理する技術委員会

会の委員8人を高齢や福島原発事故の検証が終わつたことを理由に

退任させました。

技術委員会は平山征夫知事が設置したもの

で、その後に米山隆一知事が避難委員会などを拡充して設置しました。3つの検証体制は

全国からも注目され、県民の安全を守る財産といえるものです。福島事故の原因として、

地震動により重要設備

が損傷した可能性を否定しないなど、厳しく検証が行なわれてきました。

新任委員5人全員が出席して6月3日に開催された技術委員会



核物質防護の不備や、未完了工事が相次ぐ東京電力柏崎刈羽原発

## 原発事故に関する3つの検証体制

### 総括検証委員会

設置：2018年1月  
【米山隆一知事】

### 技術委員会

設置：2003年2月  
【平山征夫知事】

### 健康生活委員会

設置：2017年8月  
【米山隆一知事】

### 避難委員会

設置：2017年8月  
【米山隆一知事】

【 】内は、委員会設置当時の知事



# 今も続く放射線の影響

政府のエネルギー基本計画は、2030年本計画は、2030年までの電源構成目標につ

いて、原子力を20～22%とし、原発への依存を続けることとしています。また、自民党の

原発建替え推進議員連盟は4月に設立総会を開催し、政府のエネルギー基本計画に原子力

発電所の新增設や既存施設の建替え推進の明記をめざすこととしました。日本政府・自民党の姿勢は、脱原発をめざす世界の動きに逆

で、その後に米山隆一知事が避難委員会などを拡充して設置しました。3つの検証体制は

全国からも注目され、県民の安全を守る財産といえるものです。福島事故の原因として、

地震動により重要設備

が損傷した可能性を否定しないなど、厳しく検証が行なわれてきました。

花角知事を支える自

然の指摘と言えます。委員の交代で検証が形骸化することのないよう、引き続き注視していかなければなりません。

花角知事を支える自

然の指摘と言えます。委員の交代で検証が形骸化することのないよう、引き続き注視していかなければなりません。

花角知事を支える自

然の指摘と言えます。委員の交代で検証が形骸化することのないよう、引き続き注視していかなければなりません。

花角知事を支える自

然の指摘と言えます。委員の交代で検証が形骸化することのないよう、引き続き注視していかなければなりません。

花角知事を支える自

然の指摘と言えます。委員の交代で検証が形骸化することのないよう、引き続き注視していかなければなりません。

ひぐち県議は、玄関先や街角でみなさんの困りごとや、ご要望などを聞かせていただいている。わからぬこともあります、市議会議員や行政の力を借りながら、課題



の解決に向けて奮闘しています。ときには難しい課題に直面し、悩むこともあるようです。ひぐち県議の日常活動の一コマを、エピソードも交えながらお伝えします。



「美佐島トンネルが暗い」という話を梅澤道男南魚沼市議を通じて伺った。暗いトンネルがある一方、昼のよう明るいトンネルもある。トンネルの明るさがどのように決められているのか、美佐島

トンネルの明るさは、常時点灯している基本照明と、晴天・曇天時に点灯する入口照明などに分類される。美佐島トンネルには、58台の基本照明と64台の入口照明など174台があり、中央付近で切れていった5台は昨年9月に交換済。他に47台が切れていることが確認され、7月中旬には、基本照明の全てなど73台が交換される予定だ。

首都高やNEXCOでもLED照明への切り替えが進められ、照明器具やケーブルの入手に時間がかかるため、交換も遅れ気味という。早めの対応が大切だが、昼の道路パトロールだけでは照明切れの見落としもあるという。「暗いかな」と感じら、連絡をください!

## トンネルを明るくして

た。古い基準で造られたトンネルの明るさは変わらない。照明器具は、常時点灯している基本照明と、晴天・曇天時に点灯する入口照明などに分類される。美佐島トンネルには、58台の基本照明と64台の入口照明など174台があり、中央付近で切れていった5台は昨年9月に交換済。他に47台が切れていることが確認され、7月中旬には、基本照明の全てなど73台が交換される予定だ。

マルチ商法の商品を高額で購入した人が訪ねてきた。持病で苦しんでいる子どものために、わらにもすがる思いで購入したという。商品を紹介した人か

が残つてゐる家が散見される。

昨年末からの豪雪で、通学路の確保や、高齢者世帯の出入り口確保などの除雪要望が多く寄せられた。地域振興

局地域整備部によると、れ違いができるなど区間を短縮する方向に歩道の除雪車出動基準は車道が10cm、歩道が20cmの積雪。消雪パイプのある道路は機械除雪パイプが支障をくさい。

雪は行なわず、排雪基準は踏切と交差点以外ではなく、状況に応じて実施すること。子どもが歩くスペースが確保できない、車のす

したが、冬に向けて検討中のこと。道路管

理面でのルール見直しも必要だろう。高齢化

にも対応した除雪計画

が求められる。

聞いた。道路

管理者に相談

した。

## うまい話には気をつけて

政治ができ

に力を入れ

</div